

### 友の会活動の特徴は、元気な友の会が沢山あると聞いています

地域住民との協同は確実に広がっています。昨年から吉祥院健康友の会が取り組んでいる「カフェさち」は患者さんだけでなく、地域住民の「憩いの場」として大盛況で、毎週金曜日が待ち遠しい状況となっているんですよ。上京健康友の会は「地域見守り隊」を会員と職員で結成し独居者の訪問行動、九条健康友の会や春日健康友の会は「お食事会」、丹後健康友の会は「茶論九条の会」で学習と喫茶交流を数年来開催されています。福知山健康友の会は地域団体と共催で100名規模のグラウンドゴルフ大会を開催されています。

いずれも地域の中で交流する場を設け、積極的に地域に入っていく取り組みが進んでいます。これは、会員の要求と地域要求がマッチした取り組みで、こういう活動が、友の会として求められているんだと感じています。

### 16500の会員拡大、すばりやり切る保証はありますか

非常に辛辣な質問ですね。まずは、目標達成のために、あらゆる具体策をリストアップし準備し尽くすことが重要ですね。立ち止まって考えていても日だけが過ぎてしまいますので、全て

やってみることが大事と思っています。

私の数少ない成功体験ですが、目標の数倍の対象者リスト作成、多数の行動日の設定(休診日や土・日を利用して、職員・役員・活動家を中心に行動日への参加結集、リストの最後の一人まで追及しましたね。また、事業所の待合には、横断幕や出店を設置し、事業所を利用される人へのアプローチで多くの会員を増やすことが出来たんです。それと、内部的には、期日目標を設け進捗状況を把握することにこだわりました。期日目標が達成できないと予測される時は臨時ニュースを出し、職員や役員に状況を伝え手立てをお願いしました。全体のニュースは毎週発行しましたね。当然一人の力だけでなく、事業所幹部とも知恵を出し合い進めた結果だったと思います。

質問の答えになっていないかもしれませんが、友の会が経験や教訓を生かし取り組みれば必ず目標達成することは可能だと思っておりますし、今までの月間でやれていないことに挑めば、おのずと結果は出てくると思います。秋のイベント(別表参照)もアプローチの場・節として位置づけることが大切です。

綾部の役員さんが目標達成には「月間の虫が必要」とつぶやかれました。病院、診療所、友の会にどれだけたくさん「月間の虫」が生まれ、虫だらけになる

かにかかっていますね。

ありがとうございます。従来の取り組みから脱却する、飛躍する必要と方針がよく分かりました。今の時代、生活不安と社会に対する不信が渦巻いているのにその民意が反映されず、閉塞した雰囲気蔓延している。だから民医連・友の会が地域のきずなを取り戻し、「架け橋」になるという提起を全面実践する、月間で大いに試されることが分かりました。本当に「虫」だらけが必要で、私も「虫」への決意が湧きました。

### 保健予防活動での割引一覧

中右京健康友の会	各種健診500円~1,000円補助 インフルエンザ500円補助
春日健康友の会	インフルエンザ500円補助
西京健康友の会	インフルエンザ1世帯500円補助
上京健康友の会	健診は会員価格 インフルエンザ500円補助
仁和健康友の会	インフルエンザ500円割引
吉祥院健康友の会	健診は会員価格 インフルエンザ500円補助
九条健康友の会	歯ブラシ表示価格の10%割引
久世健康友の会	会員価格の友の会健診実施
綾部健康友の会	健診は会員価格 各種ワクチンは500円割引
舞鶴健康友の会	インフルエンザ500円割引
丹後健康友の会	インフルエンザ1,000円割引 肺炎球菌720円割引

民医連の共同組織と共にした、保健予防から治療、介護連携が注目を集めています(全日本民医連第40期第1回評議員回方針)。地域での健康づくり、ヘルスプロモーションへと発展させるため医療懇談会、健康チェック、友の会健診は、健康格差の克服、健康権保障から重要な取り組みとなっています。

友の会保健予防の取り組みを紹介します。友の会と健康な地域づくり、まちづくりを前進させましょう。

### 送迎の取り組み

京都民医連中央病院 京都民医連太子道診療所 春日診療所、朱雀診療所 上京診療所、仁和診療所	無料シャトルバスを運行(3路線、17便) 路線は太子道診療所・中央病院を起点に春日診療所、朱雀診療所と北コース(紫野・上京・仁和診療所)を運行
吉祥院病院	健康友の会が送迎ボランティアを実施 利用料の設定は無いがカンパをご協力いただいている。送迎コースは病院から自宅を基本としているが、利用者の都合に応じている。
京都協立病院 あやべ協立病院	友の会バスを運行(3路線、8便) 病院、診療所の往復と上林、志賀郷コースを運行
福知山健康友の会	通院送迎ボランティア NPO法人にて ・ふくちやま協立診療所、京都協立病院への通院送迎ボランティア ・病院・医院、公共施設、買い物への有償運送(送迎)
たんご協立診療所	健康友の会が通院ボランティアを実施 診療所との距離により利用者負担あり

高齢・過疎化等により移動手段を持たない高齢者や独居老人の増加、公共交通の縮小等により通院困難な方が増えています。友の会等は、切実な地域要求として送迎ボランティア等が取り組まれており一部を紹介します。